

西牧大使によるオシレ難民キャンプ訪問 (令和6年11月8日)

2024/11/08

令和6年11月8日、西牧大使は、令和4年度の補正予算 UNFPA 案件「誰も取り残さない 新型コロナウイルスからのよりよい復興、すべての人たちの尊厳の回復、未来の再創造、ジェンダーに基づく暴力がもたらす負の影響の緩和」で支援したオチョゾンジュパ州のオシレ難民キャンプを訪問し、同案件で支援した「生理用ナプキン製造プロジェクト」を視察するとともに、裨益難民との対話を実施しました。製造されたナプキンは、難民キャンプに居住している女性及び思春期の少女に支給されており、彼女たちの権利と尊厳が守られています。



裨益難民との記念撮影（写真中央：西牧大使とアモコンゴ UNFPA 副代表）



生理用ナプキンを作る裨益難民